

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

お茶摘み 2021

● 市川生産グループ

今年は5月4日に、静岡県伊東市 宇佐美、5月15日に、伊豆の国市 長者原のお茶摘みをさせていただきました。コロナ対策により、必要最小限の人数で、密にならない作業内容を考え、当日を迎えました。今年の春は、夏のように暑い日が続くときもあれば、急に寒さが戻る日もありました。桜やサツキなども1、2週間早く開花しましたので、茶摘み時期を判断するのが難しい状況でした。

ここ数年、市川グループでお借りしている茶畑では機械摘みを導入しています。4月に入ってから、毎週畑に足を運び、茶葉の伸び具合を記録して、お茶摘みの最適期を検討してきました。新芽にある程度の高さがないと機械摘みがしづらくなるためです。

今年のお茶摘みを通して感じたことは、大自然の X の力(順応性)です。新茶の茶葉は本来とても柔らかいものです。しかし、今年のように暖かい日のあとに寒さが訪れると、「冬がきた」と木が感じるからでしょうか、茶葉は硬くなってしまいます。製茶工場の右原さんの話によると、伊豆地域の生産者が製茶工場に持ってきた今年の茶葉は全体的に硬くなってしまっていたそうです。製茶の都合上、硬い茶葉は煎茶にすることが難しいようです。



5月4日 宇佐美

ところが、私たちが摘ませていただいた茶葉はとても柔らかかったとお話いただきました。もしかしたら、土や作物には本来、気候天候への順応性の力があるのかもしれませんが、無施肥無農薬で栽培することにより、その力が存分に発揮されるのではないかと感じました。

おかげさまで、宇佐美では 85.7kg、長者原は 122.1kg 収穫させていただきました。(スタッフ: 猪狩和彦)



5月15日 長者原

● 三六九会農園

今年5月15日(土)に、埼玉県入間市にある三六九会農園のお茶摘みをさせていただきました。今年の春の天候は良好でしたが、雨不足により、5月5日の段階では茶葉の生育が遅く、例年ですと、計測点の葉の大きさを測るのですが、計測不能でした。(1cmほどしか茶葉が伸びてない) 5月9日に茶摘みを行うとすると早すぎるが、当初の5月23日に摘み取る予定では、新芽が伸びないうちに葉が開きそうで、その時点で行くと収穫量は多いであろうが開いた葉は硬く茶葉の品質が落ちると予測。

5月9日は農園でお茶摘みの準備を行い、茶葉の様子から、お茶摘みは5月15日しかないだろう

と最終判断をし、雨天であれば、翌日16日に行うかどうかという非常に難しい状況でした。

いよいよ15日(12名参加・晴れ)に実施することになりました。2年前の、隣接する川の護岸工事による耕作面積の減少、茶木移設 250株の分の収穫不可分、また、昨年の茶毒蛾の幼虫大量発生で茶木の焼き払い駆除があり、一部は葉が焼かれて育っていないところもありました。また、新芽の成長(伸び)が7.5~12cmで、期待したほどでないこと(12~14cmが茶摘みのタイミング)から、昨年の収量、生茶109.3kgを下回る70~80kgと参加者の大方の予想のなか、茶摘みを開始しました。

結果、収穫した生茶、製茶工場測定値136.6kg! 予想の70~80kgを上回る量が収穫できました。2020年は109.3kg、2019年は68.5kg。今回、事故なく怪我なく、無事に収穫させていただいたことに感謝させていただきました。皆、悩みに悩んだお茶摘み実施日でしたが、翌日は雨! 今にしてみれば、15日が許された最善の日程だったと思わせていただきました。

今年もコロナ渦の状況下、3密(多人数による密閉・密集・密接)を避けながら関係者で相談し、4月25日(日)、5月5日(祝水)、9日(日)と、複数日に分けてお茶摘みまでの草取り、準備をしました。参加された三六九会の方々の努力によって、様々な制限と不安が残る中、昨年以上の収穫ができましたことは驚きでした。今回も、真心込めた無施肥無農薬のお茶が広く皆さんに届くように取り組んでいきたいと思えます。(スタッフ: 近藤弘文)



お世話になった方々にクッキーを♪

東京都 西村京子



今年3月に幼稚園を卒園した息子は、幼稚園生活でたくさんの先生にお世話になりました。副園長先生はじめ、担任、介助員さんです。卒園するにあたり、その感謝の気持ちをこめ、無肥料無農薬、放し飼いの卵、こだわり素材で作られたジョリフィーユさんのクッキーをプレゼントしたいなと思っていました。

そんな夢が叶うのか?ひとまずジョリフィーユの宮澤さんにご相談して、いろんな提案をしていただきました。そのあと介助員さんにお世話になっている子供を持つママたちと、「先生たちにお礼をしたいね。あまり気を使わないでもらえるもの、残らないもの」という話になり、お菓子はどうか?とネットで調べ始めたので、思い切って、「こんな素材でクッキーを売ってくれているお菓子屋さんがある」と提案させていただきました。皆さん「いいね!」「美味しそう!」と、まだ食べたこともないのに喜んで賛同してくれました。とてもうれしく、イベント期間中でお忙しいときにも関わらず、ジョリフィーユさんにも快くお受けいただき、お世話になった先生方、それから賛同してくれたお友達のクッキーも合わせて用意していただきました。

先生はじめ、お友達にも「美味しい!」「長野にあるんだ!」と喜んでいただき、無肥料無農薬栽培の存在を少しでもお知らせできたこと、またプレゼントしやすいお菓子に変身させて提供して下さる方がいらっしやること、とてもありがたく、またさらに大勢の方にお知らせさせていただけるといいな、と思いました。

お知らせ (変更の可能性あります)

- ★ 自然農法勉強会 5月26日(水) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然農法頒布会 6月18日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>